

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	コーポレートパーパス / ESG特集	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	本レポートの編集方針	GRI内容索引	投資家向け索引

人権

GRI103-1

人権に関する方針・考え方

グローバル企業のバリューチェーンが拡大する中、国際社会では人権尊重およびビジネスが人権に与える影響への関心が高まっており、自動車業界においても、労働環境、天然資源や水、紛争鉱物などの課題における人権課題が認識されています。日産は、すべての国・地域で適用される法律や慣例、企業の規則を遵守することが事業活動を行ううえでの基本と考えています。また、魅力的で価値ある持続可能なモビリティを人々に提供していくという日産のコミットメントを達成するためには、すべてのステークホルダーの人権が尊重されること、ならびに日産の従業員が最高の倫理基準に基づいて行動することが不可欠であると認識しています。日産は、人種、国籍、性別、宗教、障がい、年齢、出身、性自認、性的指向、その他の理由に基づく差別をしないこと、さらにはサプライチェーン全体において強制労働や児童労働といった人権を侵害する労働慣行の是正・根絶に取り組んでいます。

GRI102-16

人権尊重に関する基本方針

日産は、「国連グローバル・コンパクト」の参加企業として、「世界人権宣言」、国際労働機関 (ILO) の「労働における基本的原則および権利に記載された人権」を尊重しています。国連の「ビジネスと人権に関する指導原則 (UNGPs : UN Guiding Principles on Business and Human Rights)」を参照すべき基準と位置づけ、日産の事業活動から生じ得る人権への悪影響を積極的に防止するために、日産では「日産の人権尊重に関する基本方針」* を策定しました。すべてのステークホルダーに対して日産の人権尊重に対するコミットメントを明確にするとともに、この基本方針に基づいた取り組みを進めています。

* 「日産の人権尊重に関する基本方針」に関する詳細はこちらをご覧ください
https://www.nissan-global.com/COMMON/DOCS/CSR/LIBRARY/nissan_human_rights_policy_j.pdf

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	コーポレートパーパス / ESG特集	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	本レポートの編集方針	GRI内容索引	投資家向け索引

GRI102-17 GRI103-2 GRI408-1 GRI409-1 GRI412-1

人権に関するマネジメント

「日産の人権尊重に関する基本方針」は、日産の役員および従業員全員に適用されます。また、「日産グローバル行動規範」にも期待される倫理の基本的な考え方を明確にしておき、全役員、全従業員は人権方針を自社の活動を越えた範囲で適用することの重要性を認識しています。日産の目標は、グローバルに展開するサプライチェーンのすべての段階において、倫理的かつ社会・環境に配慮した事業活動を実現することです。この目標を達成するために、サプライヤーを含むビジネスパートナーとも協働していきます。

日産は2006年以来、「The Renault-Nissan Purchasing Way」を通じて、調達に関する共通の価値観やプロセスを全世界に広がるサプライヤーのネットワークと共有してきました。「ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン」においても人権・労働に関する共通の価値観を共有し、人権尊重や児童就労の禁止、強制労働の禁止など、サプライヤーに期待することを記載し、その実践をお願いしています。さらに、自主的な取り組みとして、責任ある鉱物調達と、紛争鉱物に対するデューディリジェンスの実施を各社に要請しています。販売会社に対してもコミュニケーションを強化しながら、人権問題を含め、一貫性のあるサステナビリティマネジメントを推進しています。

同時に、従業員にとどまらず、すべてのステークホルダーの内部通報が可能となるSpeakUpというグローバルで統一したシステムを導入しています。

* サプライチェーンにおける人権への取り組みに関する詳細はこちらをご覧ください
[>>> P155](#)

* 内部通報システムに関する詳細はこちらをご覧ください
[>>> P205](#)

関連するガイドラインは下記をご覧ください

・日産グローバル行動規範

https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/2017/NISSAN_GCC_J.pdf

・ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン

https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/CSR_Alliance_Guidelines.pdf

・日産グローバル鉱物調達に関する方針

https://www.nissan-global.com/JP/DOCUMENT/PDF/SR/Minerals_Sourcing_Policy_j.pdf

GRI103-3 GRI406-1 GRI407-1 GRI411-1 GRI412-2

人権に関する実績

日産は人権について包括的に取り組む必要性を認識しています。意図せず引き起こしてしまう、または、関与した可能性のある人権に対する顕在的・潜在的なリスクを把握したうえで、それらのリスクを未然に防ぐため、事実をモニター・評価し、対応策を講じることが重要になります。

日産は2001年、「日産グローバル行動規範」に多様性の尊重と機会平等を明記し、2004年には業界他社に先駆けて「国連グローバル・コンパクト」に署名、現在に至るまで報告義務を遂行しています。サプライヤーに対しても2010年に「ルノー・日産サプライヤーCSRガイドライン」を発行し、強制労働および児童就労の禁止など人権の尊重を明記し、日産のサステナビリティ方針を共

目次	CEOメッセージ	CSOメッセージ	コーポレートパーパス / ESG特集	日産のサステナビリティ	日産のSDGsへの貢献	ルノー・日産自動車・三菱自動車のアライアンス
環境	社会性	ガバナンス	ESGデータ集	本レポートの編集方針	GRI内容索引	投資家向け索引

有してきました。

また、2017年には国連の「ビジネスと人権に関する指導原則 (UNGPs: UN Guiding Principles on Business and Human Rights)」にのっとり、「日産の人権尊重に関する基本方針」を策定・発行、すべてのステークホルダーの人権を尊重すること、そして日産の従業員が最高の倫理基準に基づいて行動することを表明しています。2018年6月には新たなサステナビリティ戦略「Nissan Sustainability 2022」を発表、環境、社会性、ガバナンスの側面における2022年度までの活動目標を明確にし、その社会性の側面で、あらゆるステークホルダーの権利を尊重することの重要性をあらためて強調しています。

2018年に米国のサステナビリティ推進団体であるBSR (Business for Social Responsibility) とともに、人権インパクト・アセスメントを実施し、特に人権にかかわる潜在的なリスクとして、4つの重点分野であるサプライヤーの労働環境、従業員の労働環境、製品安全、顧客のプライバシー*1 を特定しました。2019年にはBSRと協力し、日産サウスアフリカ会社において人権アセスメントを実施した結果、同社における人権リスクが全体的に低いことを確認しました。いくつか指摘を受けた改善項目について、2020年度のフォローアップ計画に折り込むとともに、継続的な改善を行っていきます。今後、アジア地域における関連会社への人権アセスメント拡大を予定しています。また日産では、従業員に対する人権意識啓発としてアンコンシャスバイアス (無意識偏見) に関するe-ラーニング講座を開催、延べ受講完了者数は1万5,225名(内訳: 2018年度1万2,687人、2019年度 2,538人) となりました。

また2014年度から毎年実施しているLGBT セミナーには、これまでに延べ350名が参加しました。2016年度からはLGBTに関する基礎知識を学ぶためのe-ラーニングプログラムの受講を全管理職に義務づけており、2020年度はe-ラーニングプログラム内容を更新し、あらためて管理職ならびにスタッフ層への受講を義務づけます。また、LGBT 従業員への取り組み*2 も積極的に行っています。

さらに日産の従業員は、「日産グローバル行動規範」に記載されている通り、内部通報システム*3 を通じて人権問題に関する問い合わせを行うことができます。通報された懸念に対しては、調査・説明・対応を行うとともに、問い合わせた従業員が不当な扱いを受けないよう保護しています。

*1 人権の重要分野特定に関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P014](#)

*2 LGBT 従業員への取り組みに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P123](#)

*3 内部通報システムに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P205](#)

* 責任ある鉱物調達に関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P159](#)

* 行動規範のトレーニングに関する詳細はこちらをご覧ください

[>>> P203](#)